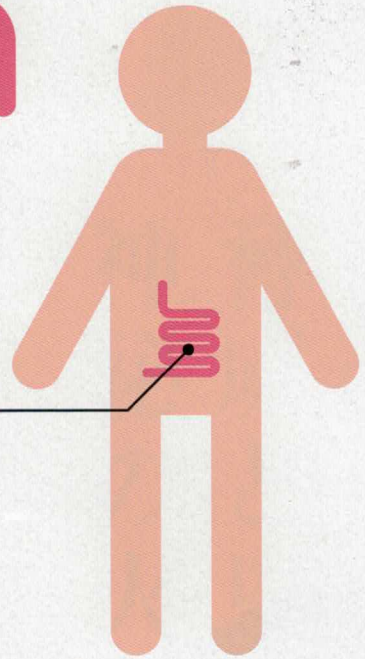


# 臓器のはなし



## 今月は 小腸

### 消化吸収だけでなく 免疫のカギも握る

検査するのが難しい 「暗黒の臓器」

十二指腸、空腸、回腸の3つに区分され、全長6〜7mと体の中で番長い臓器が小腸です。基本的な役割は、消化と吸収。胃で消化されて粥状になった食物を、消化酵素によってアミノ酸、ブドウ糖、脂肪酸などに分解し、栄養分を吸収します。

小腸は、「暗黒の臓器」ともいわれ てきました。体内の奥にあるため、 診察するのが困難だからです。胃カ メラでは十二指腸の途中まで見るの がやっと。お尻から入れる大腸カメ ラも小腸までは到達できません。そ のため小腸は、細部まで観察する方 法がありませんでした。

行っていたのは、胃のレントゲンと 同じような小腸の造影検査(造影剤 で臓器を写す検査)。口から管を入 れて十二指腸の先のところから造影 剤と空気を注入し腸を膨らませ、さ まざまな方向から撮影します。それ で腸の粘膜の一部に歪みやくぼみが 見つかったら、病気を疑うわけです。

私の患者さんにも、造影検査によ り小腸結核と診断された方がいまし た。小腸に結核菌が付いて炎症が起 きる病気です。結核菌は胃酸では死 滅しないため、胃を通り越して小腸 で結核を引き起こします。ただし、 薬を飲めば治ります。

その患者さんが小腸結核を発見で きたのは、下血がきっかけでした。便 に血が混じっていたので最初に大腸 を疑ったのですが、悪くありません。 次に胃を調べましたが原因は見つか

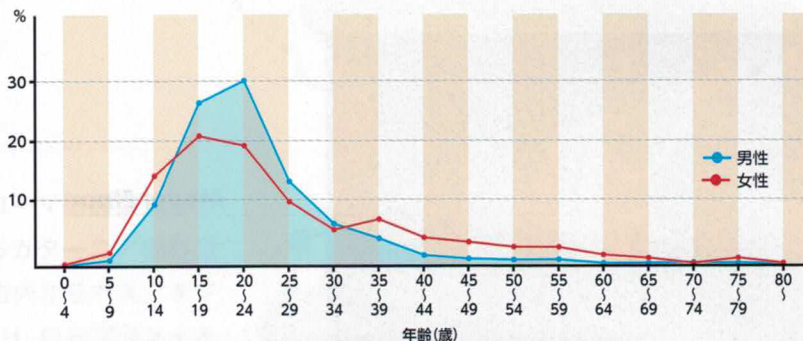
らず、消去法で小腸を疑いました。 そして造影検査の画像と血液検査で 結核の診断ができたのです。

**アレルギーや細菌から 守ってくれる！**

小腸がんは、初期はほとんど無症 状で通常の検査では診断できないた め、進行して症状が出てから見つか るケースがほとんどでした。最近 は小腸専用の内視鏡カメラや飲み込ん で使用するカプセル型小腸カメラも 出てきました。それでも小腸は長い 臓器ですから、隅々まで診察するの は難しいとされています。

ただし小腸の疾患自体はレアケー ス(まれ)です。主な病気としては、先 ほどの小腸結核と、免疫の異常で自 分の小腸の粘膜に炎症が起きるク ローン病(下のグラフ参照)。小腸が んも非常に少ないですね。

理由は、小腸に免疫細胞が密集し ているからといわれます。近年の研 究でも、食べ物に対するアレルギー 制御や、体内に入った細菌を排除す るための抗体をつくる仕事も、小腸 が担っていると報告されています。



厚生労働省難治性疾患克服研究事業消化器系疾患調査研究班(難治性炎症性腸管障害) 作成の難病情報センターホームページから引用

監修

浅海 直  
あざうみ すなお  
(医療法人社団 平成医会 産業医)



1993年千葉大学医学部卒。2007年12月まで松戸市立福祉医療センター東松戸病院(内科副部長)、2008年1月より板橋区役所前診療所に勤務。専門分野は糖尿病、脂質異常症、甲状腺疾患等の代謝・内分泌疾患および老年医学。